

## ベヨネース列岩の火山活動解説資料（令和5年1月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

26日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、ベヨネース列岩（明神礁）付近で変色水が確認されました。

今後、海底噴火が発生する可能性があるため、26日19時30分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。

ベヨネース列岩の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

### ○ 活動概況（図1）

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められておりません。26日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、ベヨネース列岩（明神礁）付近（図3）で、淡い黄緑色の変色水（直径約100m）が確認されました。変色水が確認されたのは2017年11月以来です。

今期間認められた変色水は、火山活動の活発化を示していると考えられます。

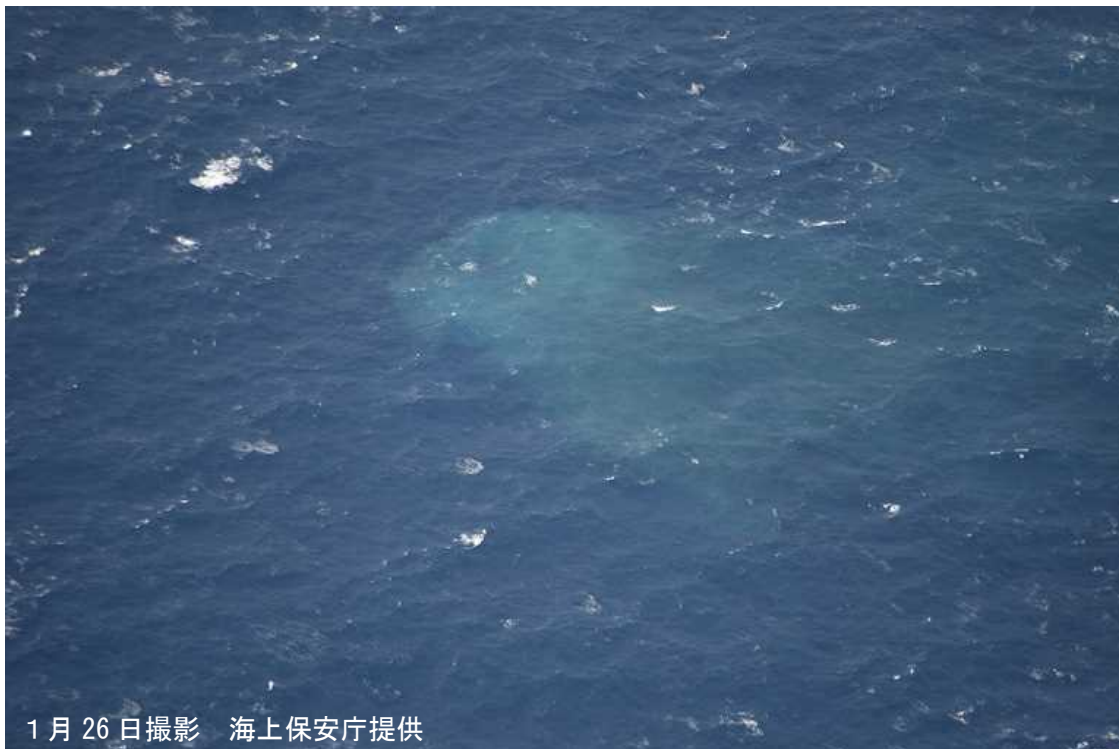


図1 明神礁付近の変色水

・明神礁付近で直径約100mの淡い黄緑色の変色水が確認されました。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は海上保安庁及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。



図2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及びベヨネース列岩の位置図  
ベヨネース列岩は、青ヶ島の南南東約65kmに位置します。

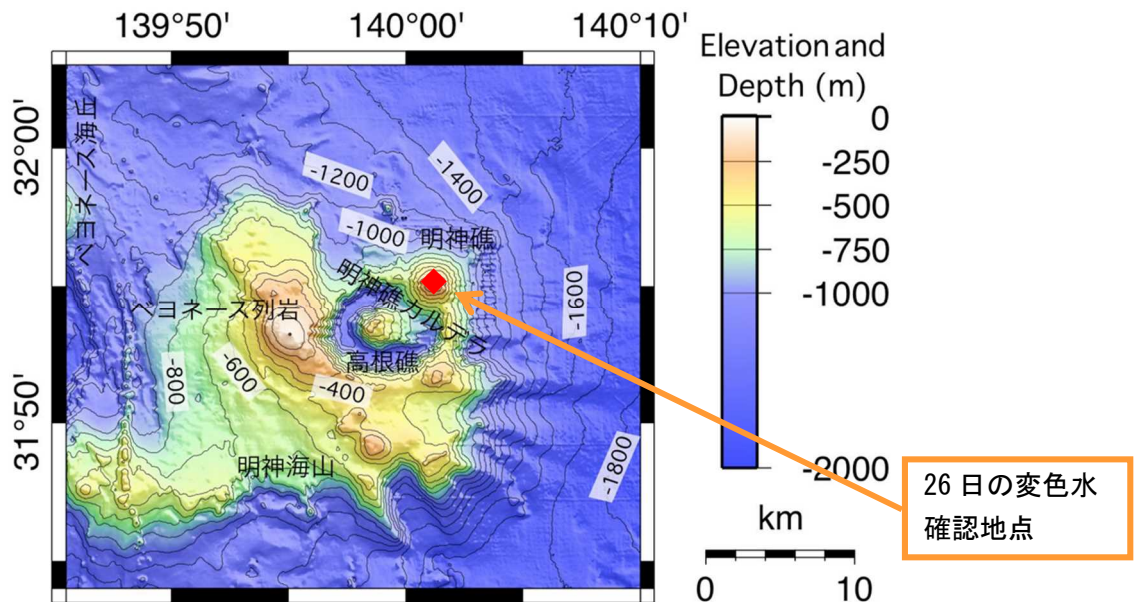


図3 ベヨネース列岩付近の海底地形図と変色水確認地点（◆）

この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。

明神礁の最浅部は水深50m、北緯31度55.1分、東経140度01.3分です。

（日本周辺海域火山通覧（第4版）（海上保安庁，2012）に加筆）

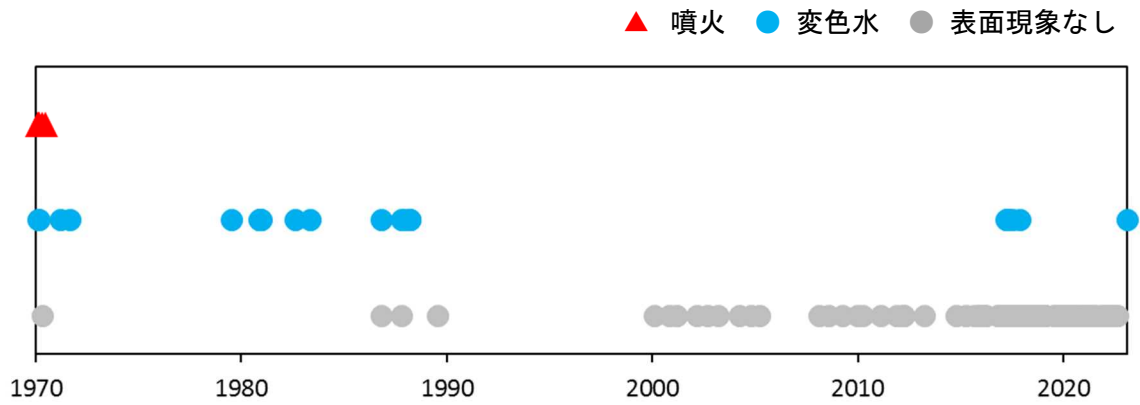


図4 ベヨネース列岩 1970年以降の活動状況

- ・変色水が認められたのは、2017年11月以来です。
- ・1971年以降、噴火の発生は認められていません。

海上保安庁、海上自衛隊及び漁船等からの情報による。